

# きりゅう 市議会だより

平成22年11月1日

No.220



新里総合センターで開催された災害救助訓練

平成22年第3回定例会は、8月31日(火)に招集され、9月22日(水)までの23日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案12件の審議を行い、それぞれ可決又は認定しました。

また、議員提出議案4件の審議を行い、1件を可決、3件を否決としました。

## 主な掲載記事

- 一般質問…………… 2～5
- 平成21年度決算を認定…………… 6～7
- 主な議案、請願の審査結果…………… 8

# 一般質問

## 質問者

周小野藤田山谷周雅彦(クラブ21) 藤田山谷周雅彦(愛・桐生派) 藤田山谷周雅彦(無新会政会) 藤田山谷周雅彦(クラブ21) 藤田山谷周雅彦(愛・桐生) 藤田山谷周雅彦(日本共産党) 藤田山谷周雅彦(桐新クラブ) 藤田山谷周雅彦(クラブ21) 藤田山谷周雅彦(愛・桐生) 藤田山谷周雅彦(公明クラブ) 藤田山谷周雅彦(新政会) 藤田山谷周雅彦(クラブ21) 藤田山谷周雅彦(日本共産党) 藤田山谷周雅彦(新政会) 藤田山谷周雅彦(クラブ21) 藤田山谷周雅彦(新政会) 藤田山谷周雅彦(公明クラブ) 藤田山谷周雅彦(無会派) 藤田山谷周雅彦(新政会)

9月17日(金)・21日(火)・22日(水)の3日間にわたり、21人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無会派は、会派に属さない議員)

### ゲリラ豪雨

周藤 雅彦(クラブ21)

**質問** 被害状況とその対策についてはどうか。

(水防訓練)



**答弁** ゲリラ豪雨と言われる降雨による今年の被害は、広沢町二件、川内町一件、新里町二件、黒保根町三件の合計八件で、内容としては、人家への浸水被害が二件、倒木及び小規模土砂崩れや市道の冠水による通行止めが六件であった。

局地的な集中豪雨は、台風と違い事前予測が難しいが、可能な限り気象情報を収集・分析する中で、事前のパトロール、水路・側溝の清掃や改修、土のうによる応急対応などを実施していきたい。

### 産業支援

小野田 淳二(愛・桐生)

**質問** 市内企業の新商品開発及び販路拡大に対する支援はどうか。

**答弁** 企業が新技術や新商品を開発するには、開発にかかる経費のほか、リスクに対する負担が求められる、これらの負担が障害となり、技術やアイデアが新商品開発に結び付かない傾向がある。このようなことを踏まえ、研究開発費の助成や低金利融資及び各種展示会への出展助成等の販路支援、

さらには群馬大学や北関東産官学研究会との連携による幅広い支援活動など、開発意欲の高い中小企業へのバックアップに努めている。



(桐生市地場産業振興センター)

### 政務調査費

庭山 由紀(無会派)

**質問** 年間予算額及び監査の実施状況は。

**答弁** 予算総額は九百七十二万円で、財政援助団体としての監査はしていない。

**質問** 領収書には不備が多く、新聞購読料、ファックス賃借料、パソコン購入費、大学院通学の交通費や日当など、公費を充てるべきとは思えない支出がある。調査研究目的とは思えない書籍購入も多い。議員が自分たちのもらう金のことを

決めている。市民がこのような支出を許すと考えるか。

**答弁** 政務調査費の用途については個々の会派や議員が説明責任を負っている。

(桐生市役所)



### 厚生総合病院の医師不足

瀬谷 幸雄(新政会)

**質問** 医師不足の実態とその対策についてはどうか。

**答弁** 心臓血管外科は、平成十九年から休診を余儀なくされており、神経内科では常勤医師が不在となっている。また、医師不足が原因で、診療を行う曜日を限定せざるを得なくなっている診療科もある。現在、

桐生地域在住の医師に対する定住促進手当の支給や地域外から通勤する医師に対する宿泊場所の提供など、

医師確保に向けた支援を行っているところであるが、今後も、みどり市などと連携しながら、できる限りの支援に努めていきたい。

(桐生厚生総合病院)



## みどり市との合併

河原井 始 (クラブ2)

**質問** みどり市が「合併は時期尚早」という意向を示している中で、連携推進市長会議を継続する意義は。

**答弁** 連携交流事業などを通じて両市の一体感が醸成されていくものと考えられる。

**質問** みどり市に合併の意思がないのだとすれば、新里、黒保根を含む桐生市内部の一体感の醸成などに政策の重点を移行すべきと考えられるが、ごみ処理をはじめとした四つの受託事業の



(桐生市清掃センター)

あり方など、みどり市との関係を見直す考えはあるか。  
**答弁** 現状ではこれまでと同様にみどり市との合併を目指していく考えである。

## 公益法人制度改革への対応

福島 賢一 (桐新クラブ)

**質問** 制度改革が実施されることとなった経緯とそ



(桐生市役所)

れが立法化された年月日は。  
**答弁** 民間非営利部門の健全な発展による公益の増進を目的に、国が抜本的制度改革を進めてきた中で、平成二十年五月に関連三法案が成立し、同年十二月一日にそれらが施行された。

**質問** 特例民法法人から公益法人への移行認定の期限が迫っている中で、桐生市の三つの財団法人をどのように存続していく考えか。  
**答弁** 平成二十五年十一月末までの期限内に公益法人に移行できるよう準備を進めているところである。

## 市有財産活用による財源確保

森山 享大 (愛・桐生)

**質問** 全国的に税収が減少の一途をたどる中、自動



(市庁舎内の自動販売機)

販売機設置場所の貸付に一般競争入札を適用することにより、増収を図っている地方公共団体が年々増加している。群馬県やみどり市でも、すでに同様の手法を導入しており、福島県のように大きな成果を上げている事例も見られる。市有財産の有効活用により、少しでも多くの財源を確保できるようにするために、桐生市においても、この手法を導入してはどうか。  
**答弁** 平成二十三年度からの実施に向け、現在準備を進めているところである。

## 桐生八木節まつり

細谷 昌弘 (クラブ2)

**質問** 開催時間を午後十時までとする理由は。

**答弁** 県青少年健全育成条例を遵守するためである。

**質問** まつり開催中における本町一丁目の交通規制が今後行われなくなると聞いたが、まつりを地域力の強化や市の発展につなげるためにも、規制の維持や時間の延長について桐生警察署と交渉すべきではないか。

**答弁** 青少年健全育成条例や市民の意向を踏まえな



(桐生八木節まつり)

ら、八木節まつり協賛会とともに、まつりのあり方を検討する中で、必要に応じて警察への要望なども行っていききたい。

## 学校図書

津布久 博人 (日本共産党)

**質問** 文部科学省は学校に備えるべき蔵書数の基準として、学校図書館図書標準を定めているが、桐生市の小中学校における基準数値の達成度はどのようになっているか。

**答弁** 小学校では、標準冊数十五万三千六百八十冊に対して、平成二十一年度末における現存冊数が十四万八千八百八冊となっており、充足率は九十二・三パーセントである。中学校で



(小学校の図書室)

は、標準冊数九万四千八百冊に対して、現存冊数が九万二千七百五十四冊となっており、充足率は九十七・八パーセントである。

## シルバーパワーの活用

岡部 純朗 (愛・桐生)

**質問** シルバー人材センターの新規事業は。

**答弁** 「シルバーさぼりと隊」、「ふれあい農園事業」の二事業を実施し、就業機会の拡大に努めている。

**質問** 元気な高齢者を活用するシステムづくりが求められる中、団塊の世代に観光の分野で貢献してもらう取り組みについてどう考えるか。

**答弁** 観光ボランティアガイド養成のためのスクー

ルの開催などに取り組んでいるが、来訪者の満足を得るには大勢の市民の協力が不可欠なので、積極的な参加を促しているところである。

(シルバー人材センター)



## 住民参加型市場公募債

寺口 正宣（公明クラブ）

**質問** 小中学校の教室へのエアコン設置の財源として、償還額が年ごとに平準化される抽せん償還による住民参加型市場公募債を発行してはどうか。

**答弁** 市場公募債の発行にあたっては、証券の市場性を高めるために通常の起債よりも高い利率を設定しなければならぬことに加え、引受金融機関への取扱手数料や証券発行経費が生じることなどの課題がある。



（市内の中学校）

今のところ発行は難しい状況であるが、行政への住民参加意識を高める効果も期待できるので、今後の選択肢の一つとして捉えている。

## おりひめバス

笹井 重俊（日本共産党）

**質問** 利用者増への取り組みは。

**答弁** 利便性向上のためにノンステップ車両を導入した。また、バスへの関心を高めるために開催した「路線バス図画コンクール」の入賞作品を車内掲出することにより、家族での乗車を促進する考えである。

**質問** 事業仕分けにおいてバス事業が廃止、縮小の対象とされた場合の対応は。

**答弁** 事業仕分けの結果



は事業のあり方に関する最終判断を表すものではないが、桐生市の特性なども考慮しながらそれを今後の方針決定に活用していきたい。（ノンステップバス）

## ふるさと桐生応援寄附金

新井 達夫（新政会）

**質問** ふるさと納税制度による寄附金をどのような（桐生市役所）



事業に活用しているか。

**答弁** 「本町一・二丁目地区環境整備事業」、「赤ちやんの駅設置事業」、「高齢者リフレッシュ事業」などに活用した実績がある。

**質問** 寄附者に対して特産品を贈呈することにより寄附件数の増加を図ると同時にそれを観光や物産のPRにつなげる考えはないか。  
**答弁** 特産品などの贈呈を行っている自治体も相当数あるようなので、今後、寄附件数の推移や他市の動向などを見ながら、検討していきたい。

## 群馬大学との連携

福田 光雄（新政会）

**質問** 群馬大学工学部が桐生市にもたらしている経済効果についてどのように認識しているか。

**答弁** 群大工学部の存在によって市内に生じている消費需要は、学内の研究室が過去に行った試算によれば、五十四億円になるとのことである。

**質問** 仮に同大学の教養課程や新設学部などが市内に立地するようなことになれば、相当大きな経済効果



を期待できるのではないかと。  
**答弁** 地域産業や教育・文化をはじめとした様々な分野に絶大な効果が及ぶものと考えられる。（群馬大学工学部）

## 桐生市着物条例

井田 泰彦（クラブ21）

**質問** 桐生のイメージと言えは「織物のまち」である（本町通り〔楽市座〕）



り、市内では着物に関するイベントや様々な事業が展開されている。来年は市制施行九十周年であり、群馬DCも開催される。この機会に「着物条例」を制定し、桐生の存在をアピールしてはどうか。さらに、この条例により「桐生市着物の日」を設定すれば、市民が着物に親しむきっかけになると考えるが市の見解はどうか。  
**答弁** 着物条例が制定された事例はないが、和装文化の裾野拡大に向けた方策の一つとして、今後の検討課題としたい。

## 学校施設の現状と課題

相沢 崇文（クラブ21）

**質問** 小中学校のトイレの現状と課題及び改修状況はどのようなっているか。

**答弁** 小学校のトイレでは、耐震・大規模改修計画の実施に合わせて臭いや老朽化への対応を図っているが、同計画策定前に耐震改修を行った東・西・境野小の三校ではトイレ改修は未実施となっている。中学校のトイレでは、設備の腐食などはあまり進んでいない。

**質問** トイレの改修が未



（改修済みのトイレ）

実施となっている三校における今後の対応はどうか。

**答弁** 平成二十四年度に全学校の耐震化が完了するので、その後に対応したい。

## 市営住宅と水路対策

田島 忠一（新政会）

質問 問ノ島梅林市営住宅の現況及び解体計画は。

答弁 用途廃止が決定している梅林市営住宅は、十八戸中十四戸が空き家で、最長十六年が経過している。今のところ解体予定はないが、早急な対応が必要と考

える。なお、空き家の周囲の除草については、住宅供給公社との委託契約の中で対応していきたい。

質問 桐生整形外科付近の水路を暗渠化して歩道を

広げる考えはあるか。

答弁 周辺における農業用水の利用状況調査や現地測量等を行いながら、有効な整備手法を模索したい。

（梅林市営住宅）



## 特別支援教育

佐藤 幸雄（新政会）

質問 特別支援教育の現状と今後のあり方についてどのように考えているか。

答弁 特別支援教育は、障害のある児童や生徒などの自立や社会参加を支援するための教育であり、五月一日現在で、市内の小中学校に設置されている三十二の特別支援学級に、八十九人の児童・生徒が在籍している。現在、コーディネーターを中心とした校内委員会を各学校に設置し、当該

（通学の様子）



教育の充実を図っているところであるが、今後、さらなる充実に向け、教育活動支援員や介助員の配置なども視野に入れていきたい。

## ポイ捨て禁止条例の制定

星野 定利（無会派）

質問 桐生川河川敷の中心橋から天神橋までの区間

（桐生川）



における犬の糞害や川内町三丁目の天神橋付近における不法投棄など、深刻な状況が見られる中で、ポイ捨て禁止条例の制定は喫緊の課題であると考え。すでに県内五市七町で同趣旨の条例が制定されており、群馬県も各市町村における条例制定を推奨しているところであるが、このような動向についてどう考えるか。

答弁 現時点では、桐生市不法投棄防止条例や群馬県的生活環境を保全する条例などの適用により対応できると考えている。

## 報酬審議会

石井 秀子（新政会）

質問 全国の類似団体における議会費の構成比を調べたところ、人口増の傾向

にあり税収の多い市では一

パーセント程度だが、〇・五パーセント程度に抑えている市もある。桐生市では、人口減の傾向が著しいにもかかわらず、〇・九パーセントという高い構成比になっている。議員報酬に対する市民の不満の声も聞かれる中、その見直しを行うために第三者による報酬審議会

を開催すべきではないか。

答弁 現行の議員報酬の金額は妥当なものと考えており、現時点では、報酬審議会を開催する考えはない。

（市議会議事堂）



## 駅的环境整備

周東 照二（公明クラブ）

質問 相老駅構内のユニバーサルデザイン化についてどのように考えるか。

答弁 平成二十二年度には、群馬県が駅前広場のロータリー化やシェルター設置などを実施する予定となっているが、渡り通路のバリアフリー化などについても、今後の課題として提起していきたい。

質問 水沼駅のトイレは老朽化が目立つが、その改修についてどう考えるか。

答弁 利用者からも改修要望が多く寄せられているので、わたらせ渓谷鐵道や関係機関と協議しながら早期改修を目指していきたい。

（相老駅）



## 議員による寄附や年賀状などは法律で禁止されています。

議員は、公職選挙法により次のことを禁止されています。

市民の皆さんのご理解をお願いいたします。

- ・年賀状などのあいさつ状を出すこと（答礼のための自筆によるものは除きます）
- ・寄附をすること
- ・本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと

# 平成 21年度 決算を認定

平成21年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算については、それぞれ賛成多数で認定しました。

同決算の認定にあたっては、監査委員による監査報告の後、各会派を代表して6人の議員が総括質疑を行うとともに、決算特別委員会（委員15人で構成）を設置し、2日間にわたり慎重に審査を行いました。

総括質疑における主な質疑に対する当局の答弁は、次のとおりです。

## 財政指標については

平成二十一年度決算における経常収支比率は、九五・五パーセントであり、前年度の九十七・四パーセントに比べて、やや改善。その要因としては、公債費の減少などが挙げられる。財政力指数は、〇・六〇一であり、前年度をやや下回る結果となった。

実質公債費比率は、十二・四パーセント、将来負担比率は九十七・三パーセントであり、いずれも前年度より改善した。

実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、前年度と同様に収支が黒字であったことから算定には及んでいない。

財政指標の多くが前年度に比べて改善されているものの、依然として厳しい財政状況が続いていること

から、財政基盤の強化に向けた市税収入の確保が特に重要な課題となっている。

## ごみ減量化については

桐生市ごみ減量化推進協議会を核に、ごみ減量化に向けた市民総参加による施策を展開する中で、再生資源ごみの集団回収に対する助成など、循環型社会の構築に向けた地域レベルでの取り組みを推進していると



（ペーパーリサイクルマシン）

ころである。

昨年九月には、地元企業が開発した全自動ペーパーリサイクルマシンを市庁舎内に設置し、それによって市民、事業者及び市職員に対するごみ減量の意識啓発を図っているところである。

なお、人口減少や不景気などの社会的要因による影響もあると考えられるが、平成二十一年度におけるごみ排出量は、前年度に比べて七・一パーセントの減少となった。

## 子育て支援については

昨年四月に相生保育園内から保健福祉会館内へと移転した子育て支援センターでは、土・日曜日における開所や平日における開所時間の拡大などにより、子育てに関する相談業務や支援業務の機能が充実し、利用者から好評を得ている。その結果、平成二十一年度における同センターの利用者数は、前年度の約二・三倍にあたる一万七千七十六人となった。

子供の医療費無料化については、平成二十一年四月に、その適用範囲を小学校



（子育て支援センター）

六年生以下の全診療にまで拡大し、さらに同年十月にはそれを中学校三年生以下の全診療にまで拡大したところであるが、その結果、平成二十一年度における当該医療費助成の受給者数は、前年度よりも三千六百八十五人増の一万六千六百三十九人となり、助成額は総額約八千八百四十九万九千円の増となった。

## 雇用促進については

平成二十一年度の緊急雇用対策事業では、市の二十八事業における求人を通じて九十二人の雇用を確保したほか、ホームヘルパー資格取得支援事業を通じて、福祉分野での就業を希望する二十人に対し、研修受講

にかかる費用の助成を行った。

また、地元の高校生の就職を支援するための取り組みとして、ハローワーク桐生や桐生地区勤労対策協議会などとの連携により、「桐生市合同企業説明会」や「高校生就職ガイダンス」を開催した。

さらには、桐生商工会議所を通じて、地元産業界に対して、雇用の確保や安定化に向けた取り組みを要請しているところである。

## 定住促進については

平成十八年度から、移住希望者向けの空き物件に関する情報提供の媒体として、「空き家・空き地バンク」を設置しており、平成二十一年度には、この媒体を通じて、十三件の空き物件の取引が成約に至った。

また、今年二月には、織姫町にある民間所有の住宅を「お試し暮らし住宅」として整備し、これによって移住希望者に対して、市内における一時的な生活体験の機会を提供できるようにしている。さらに、黒保根町におい

# 賛成討論

厳しい財政状況に置かれながら、行財政改革に臨む徹底した姿勢と限られた財源の適切な配分によって効果的な事業執行が図られたことを高く評価する。

中でも、地域福祉の拠点となる総合福祉センターや新里地区の拠点となる新里総合センターが開設したことや国道50号線と中心市街地を結ぶ中通り大橋線が開通したことなどは特筆すべき点である。また、学校施設における耐震化の推進、しあわせ妊婦健康診査事業や子供に対する医療費助成の拡充をはじめとした子育て支援施策の充実、産学官連携や企業誘致の推進をはじめとした産業活性化施策の充実などが図られたこと、さらには、緊急雇用対策や桐生厚生総合病院の医師確保対策などが積極的に実施されたことは、評価に値する。

その一方で、厳しい財政状況を脱却するためには、市税収入をはじめとした自主財源の確保に向けた取り組みの強化が求められるところであるが、今後におけるさらなる努力とその成果を期待している。

市民生活や市内中小零細企業の実態を十分に把握することなく、市が行っている年金からの市民税の天引き、国民健康保険税の値上げ、県下一高い水準への介護保険料の見直しなどは、生活に困っている市民を思いやる視点を欠いているものである。

特に、国民健康保険税については、すでに市民の担税力の限界に達しているものと考えられる。また、厚生総合病院における医師不足の問題については、医師の処遇改善等の取り組みが行われているにもかかわらず、いまだにその解決には至っていない。複数の自治体、大学、病院による連絡調整会議を通じた医師の相互派遣のしくみづくりなど、新たな施策の検討が求められるところである。

さらには、教育環境の整備につながるものとは思えない学校統廃合に対しても同意することはできない。学校の適正配置よりもむしろ児童、生徒が歩いて学校に通えるエリアの居住環境を整備することにより、「子育て世帯の適正配置」を推進すべきと考える。

# 反対討論

市民生活や市内中小零細企業の実態を十分に把握することなく、市が行っている年金からの市民税の天引き、国民健康保険税の値上げ、県下一高い水準への介護保険料の見直しなどは、生活に困っている市民を思いやる視点を欠いているものである。

特に、国民健康保険税については、すでに市民の担税力の限界に達しているものと考えられる。また、厚生総合病院における医師不足の問題については、医師の処遇改善等の取り組みが行われているにもかかわらず、いまだにその解決には至っていない。複数の自治体、大学、病院による連絡調整会議を通じた医師の相互派遣のしくみづくりなど、新たな施策の検討が求められるところである。

さらには、教育環境の整備につながるものとは思えない学校統廃合に対しても同意することはできない。学校の適正配置よりもむしろ児童、生徒が歩いて学校に通えるエリアの居住環境を整備することにより、「子育て世帯の適正配置」を推進すべきと考える。



(お試し暮らし住宅)

では、各種イベントの開催やふるさと探訪ふれあい館の活用などを通じて、都会に在住する人などに対して、豊かな自然や地域住民とのふれあいの機会を提供して

## 中通り大橋線 事業については

いるところである。

今年三月に開通した中通り大橋線は、国道五〇号線から市街地への通勤などのルートとして徐々に定着しつつあり、そのことが、錦桜橋や昭和橋の交通渋滞緩和にもつながっているものと認識している。

今後、橋梁部の四車線化を実施することにより、北関東自動車道などと市街地とのアクセス性がさらに向上するものと期待している。



(中通り大橋線)

昨年四月に、東中学校、菱中学校及び北中学校の統

## 小中学校の適正配置については



(清流中学校)

合による新設校として開校した清流中学校の教育現場からは、三校が統合したことによって、授業中における学び合いの充実、生徒間交流の活発化、部活動の活

性化などが図られているとの報告を受けている。また、今年四月に、川内南小学校と川内北小学校の統合による新設校として開校した川内小学校では、統合前の平成二十一年度中に定期的に実施した学校間交流などの成果もあって、現在、児童たちが互いに協調しながら、楽しく充実した学校生活を送っているとの報告を受けている。

水道創設時に布設された水道施設の更新については、総延長約七万二千メートルの老朽鉄管の更新を平成九年度から実施しており、平成二十一年度には、約三千メートルの布設替えを実施した。昨年十二月時点における更新の進捗率は七十六パーセントであり、平成二十六年までにすべての工事が完了する予定である。浄水施設の更新についても、桐生市水道再生マスタープランに基づいて順次進めており、平成二十一年度には、元宿浄水場の電気・計装設備の中核を成すコントロールセンターやポンプ盤等の更新に重点を置いた。

# 主な議案

○中通り大橋桁製作工事請負契約の締結について

可決

概要

中通り大橋の上流側二車線の桁製作工事請負契約を契約金額三億六百三十五万八千五百円で締結しようとするもの。

○財産処分(板橋上赤坂工業団地)について

可決

概要

新里町の板橋上赤坂工業団地の一部(面積約二万八千九百七十七平米)を工業用地として民間企業に売却しようとするもの。

## 一般会計予算の補正

◎平成22年度桐生市一般会計補正予算(第3号)

可決

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ1億5,339万円を増額補正して、予算総額を441億2,262万6,000円とするもの。

歳出予算の主な補正内容

- 庁舎管理費 9,928万8,000円の増額(庁舎非常用発電装置更新に係る経費の追加)
- 幼稚園管理費 1,760万2,000円の増額(相生幼稚園の整備に係る経費の追加)

決

議

この定例会では、次の決議案が議員により提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

### 庭山由紀議員の暴挙を批判し、桐生市議会における健全な議会運営を回復させる決議

庭山由紀議員は平成22年第3回定例会の一般質問において、地方自治法第132条に抵触するおそれのある発言を行った。

また、質問を促す議長の采配を無視して独善的な発言を続けた。これは議長の議事整理権を侵し、議場の秩序を著しく乱す、議員としてあるまじき行為である。

庭山議員は平素から「ローカルルールには従わない」、「事実関係は調べないで情報発信する」と公言している。これを指摘されると庭山議員は「私そんなこと言いましたか。覚えがない。証拠があるなら文書で示せ」と発言したが、過去の会議記録を調べたところ、庭山議員の当該発言を記録した公文書の存在が明らかになった。

さらには、自身に発言の機会を与えられていないにも関わらず、自席から議員の常識と議場の良識に反する怒号を絶叫し、議場内にいる者の心胆を寒からしめる発言を行った。

これまで数を重ねる問責決議、懲罰を勲章だとする心理は、すでに常軌を逸しているものと思われ、桐生市議会はいずれ庭山由紀議員の暴挙を断じて許すわけには行かない。

以上、桐生市議会は市民と連帯し、市政発展のため、議会に課せられた責務と使命を改めて認識し、正常な判断力と議員同士の協調を基盤として、市議会における健全な議会運営を回復させることを決議する。

平成22年9月22日 桐生市議会

## 請願の審査結果

この定例会では、請願10件の審査を行い、その結果、7件が不採択、3件が閉会中の継続審査となりました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第44号	小規模契約希望者登録制度の改善を求める請願
産業経済委員会	第38号	EPA・FTA推進路線の見直しを求め日米FTAの推進に反対する請願
	第39号	米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願
	第42号	備蓄米買入れと米価の回復・安定を求める請願
教育民生委員会	第35号	後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める請願
	第45号	子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成を求める請願
	第46号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める請願

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第43号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める請願
建設委員会	第41号	住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願
教育民生委員会	第36号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める請願

## 桐生市議会議員政治倫理条例の制定に向けて

市議会では、議員の政治倫理の確立を図ることを目的とした「桐生市議会議員政治倫理条例」の制定を目指しています。

すでに条例案が概ねまとまっており、十二月定例会に議案として提出できるよう、準備を進めているところであります。

条例案の概要は、市のホームページ(桐生市議会)でご覧いただけます。

## お知らせ

◆次回定例会の開催予定は **11月30日(火)です。**

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成22年第3回定例会の会議録は、12月上旬からご覧いただけます。なお、会議録は桐生市ホームページでもご覧いただけます。

再生紙を使用しております。